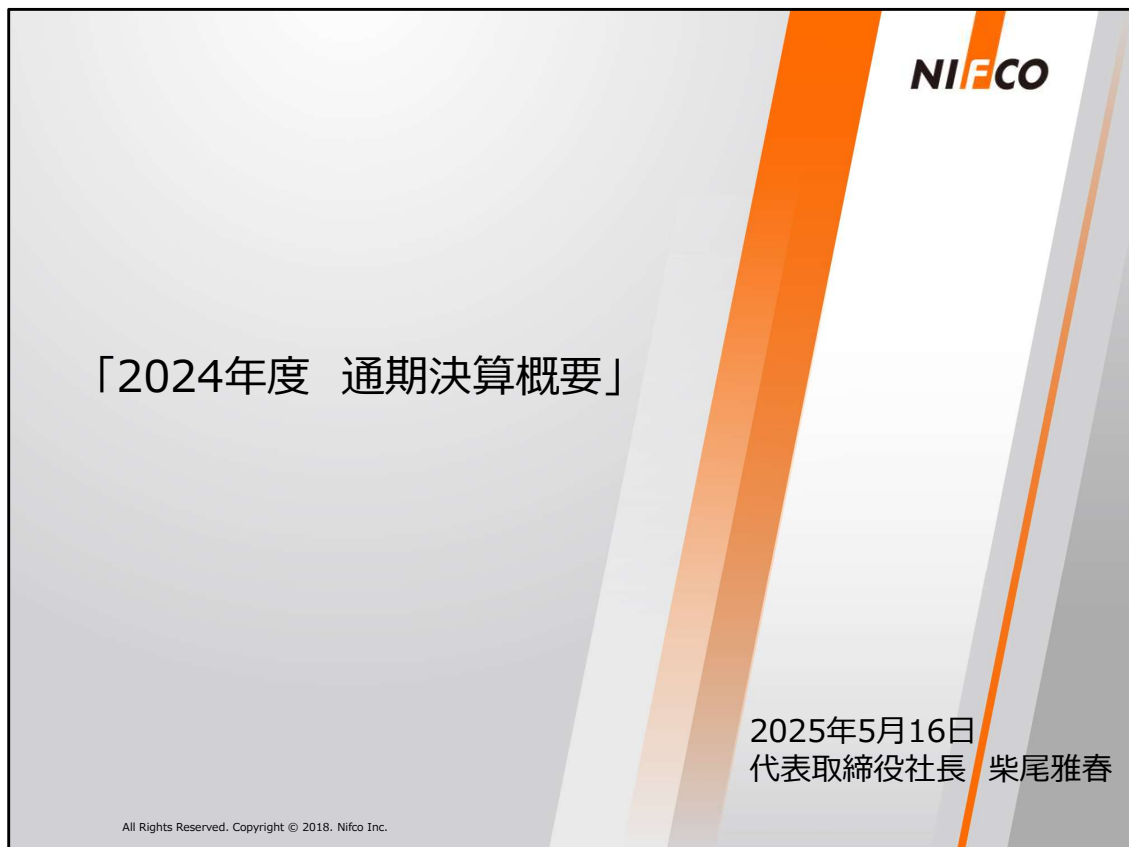




おはようございます、代表取締役社長の柴尾でございます。

本日は2024年度通期決算概要説明会にご参加いただき、誠にありがとうございます。

目次

- 1. 2024年度通期連結業績概要**
- 2. 2025年度業績見通し**
- 3. 中期経営計画(FY2025 – FY2027)**

こちらが本日のアジェンダです。

2024年度通期連結業績概要、2025年度業績見通し、最後に中期経営計画の順にご説明いたします。

要旨

FY2024 業績概要

- ・ ドイツ系ビジネス売却による影響で減収も変動費抑制により営業利益率は13.9%と高水準を維持し最高利益額を達成
- ・ 政策保有株売却による利益や税効果等一過性要因により当期純利益額も最高利益

FY2025 業績見通し

- ・ **円高前提(1ドル=145円)でも増益の見通し**
- ・ 営業利益率は14%越えを目指す
- ・ 関税の影響は現時点では算定が困難のため、織り込まず。
- ・ 2025年度の配当見込額は5円増配を予定(80円/株)

中期経営計画

- ・ **自動車向け搭載金額の継続した増加と原価低減・固定費管理により、安定した成長を目指す。**
 - FY2027目標 売上高3,690億円・営業利益534億円
 - ROE12~14%、ROIC18~20%
 - 総還元性向45%以上



All Rights Reserved. Copyright © 2018. Nifco Inc.

3

こちらはサマリーです。

2025年度の業績見通しは、現時点では関税の影響は算定が困難なため織り込んでおりませんが、

影響があったとしても微減と予想しております。

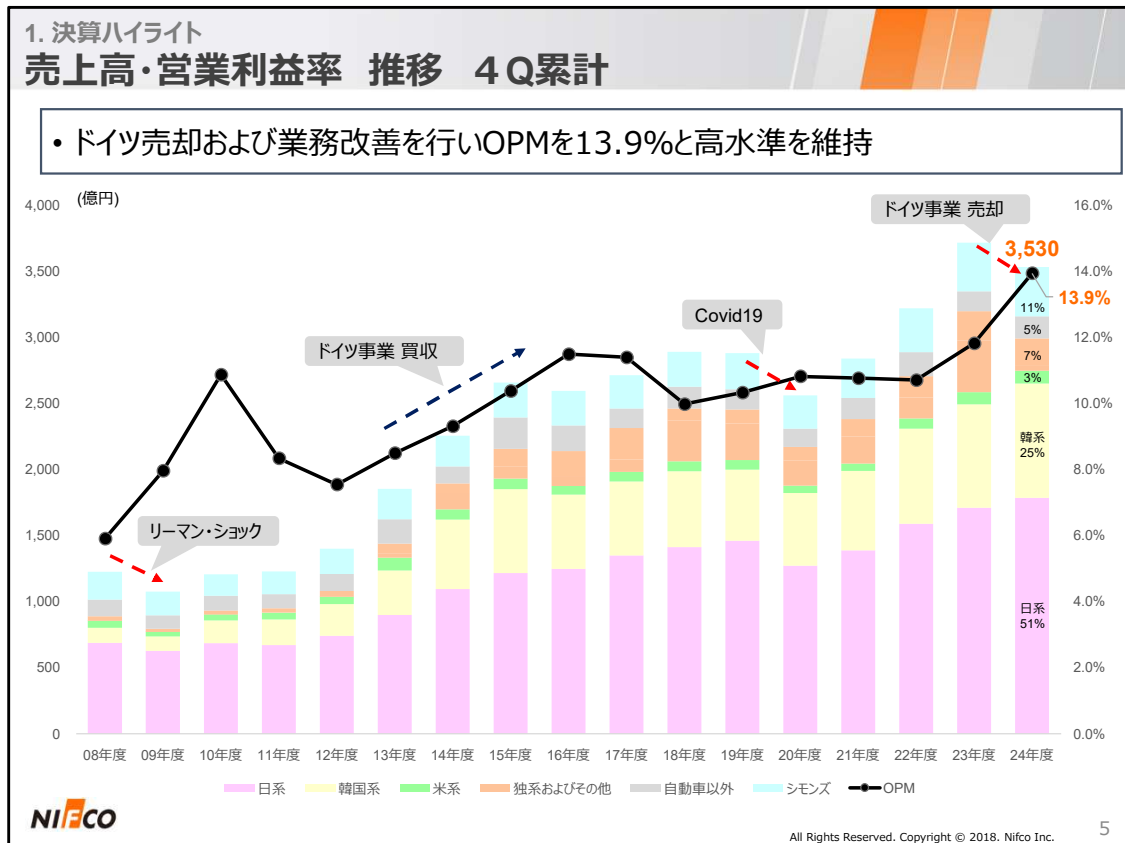
なお、中期経営計画の総還元性向は最低でも45%を目指します。

1．2024年度通期連結業績概要

2．2025年度業績見通し

3．中期経営計画(FY2025 - FY2027)

それでは、まずは2024年度の通期連結業績概要につきましてご説明いたします。



棒グラフが売上、折れ線グラフが営業利益率を示しております。
売上高の内訳は色で分けております。

売上高は、一時期コロナの影響で停滞いたしましたが、コロナ明けより再度成長を続けています。

なお、昨年はドイツ事業の売却の影響で若干減少しております。

一方で、営業利益率については13.9%を維持しております。

グラフからも分かる通り、成長の源泉は日系OEMの自動車1台あたりの当社製品搭載金額を上げていくことだと考えております。

2. 2024年度4Q連結業績概要

過去1年で売上・営業利益・営業利益率とも最高水準

- ・北米で一過性の要因があるも、OPMは前年同四半期比で維持
- ・当期純利益はドイツ売却の損が税金費用として取り込めたため前四半期比で増加

	2023年度	2024年度				前年同期比
	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	
売上高	979億円	861億円	901億円	878億円	890億円	-9.0%
営業利益	124億円	118億円	132億円	127億円	113億円	-8.7%
営業利益率	12.7%	13.8%	14.7%	14.5%	12.7%	+0.1%pts
当期純利益 ¹⁾	-51億円	88億円	66億円	125億円	168億円	-
一株当たり 四半期純利益	-51.91円	88.87円	67.24円	129.87円	176.61円	-
想定為替	1ドル=140.7円 1ユーロ=152.1円	1ドル=148.6円 1ユーロ=161.3円	1ドル=152.3円 1ユーロ=164.7円	1ドル=151.4円 1ユーロ=164.6円	1ドル=151.7円 1ユーロ=164.0円	1ドル=+11.0円 1ユーロ=+11.9円



1) 当期純利益は親会社に帰属する純利益

All Rights Reserved. Copyright © 2018. Nifco Inc.

6

こちらは第4四半期の連結業績概要です。

営業利益は2023年度よりも8.7%減少いたしましたが、こちらは一過性のものとございます。

一方で営業利益率は12.7%で、2023年度と同様の数字を維持しております。

3. 2024年度Q4連結業績概要

前年同期比で増益。営業利益率は13.9%

- ドイツ事業売却の影響で減収も、円安や北米の好調等により前年同期比で増益
- 営業利益率は13.9%と高水準を維持

	2022年度	2023年度	2024年度	
	4Q累計	4Q累計	4Q累計	前年同期比
売上高	3,217億円	3,716億円	3,530億円	-5.0%
営業利益	344億円	439億円	492億円	+12.0%
営業利益率	10.7%	11.8%	13.9%	+2.1pts
当期純利益 ¹⁾	211億円	182億円	447億円	+145.3%
一株当たり 四半期純利益	211.28円	183.26円	461.95円	+152.1%
為替実績	1ドル=131.6円 1ユーロ=138.1円	1ドル=140.7円 1ユーロ=152.1円	1ドル=151.7円 1ユーロ=164.0円	1ドル=+11.0円 1ユーロ=+11.9円



¹⁾ 当期純利益は親会社に帰属する純利益

All Rights Reserved. Copyright © 2018. Nifco Inc.

7

こちらは通期の業績の比較です。

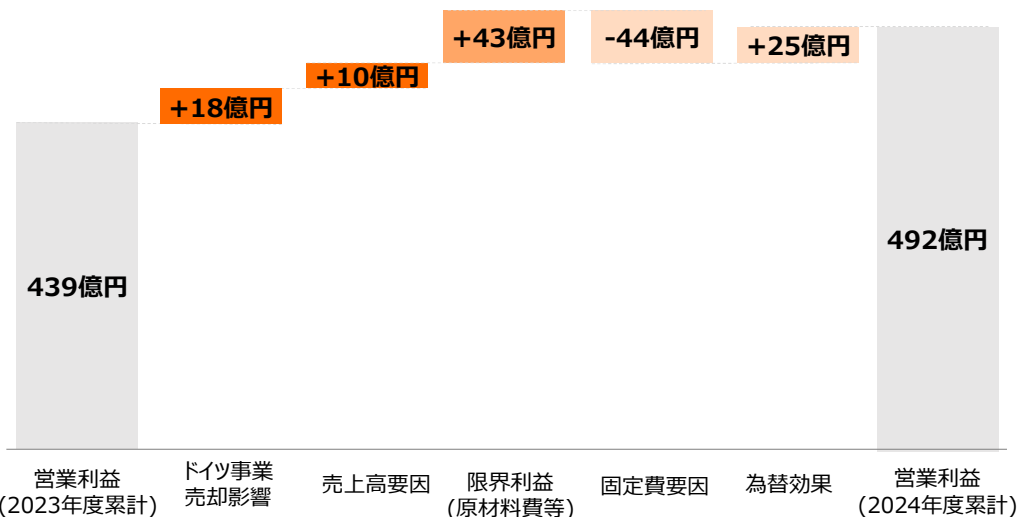
冒頭でもお話した通り、2024年度はドイツ系ビジネスの売却により売上高は前期から5%ほど下がっております。

一方で、営業利益率に関してはドイツ系ビジネスの売却を受けて上昇しております。

4. 2024年度4Q連結営業利益(前年同期比較) ¹

営業利益増減分析（前年同期比較）

- 限界利益の改善は、材料費等変動費の改善
- 固定費の増加は主に人件費の増加



NIFCO

All Rights Reserved. Copyright © 2018. Nifco Inc.

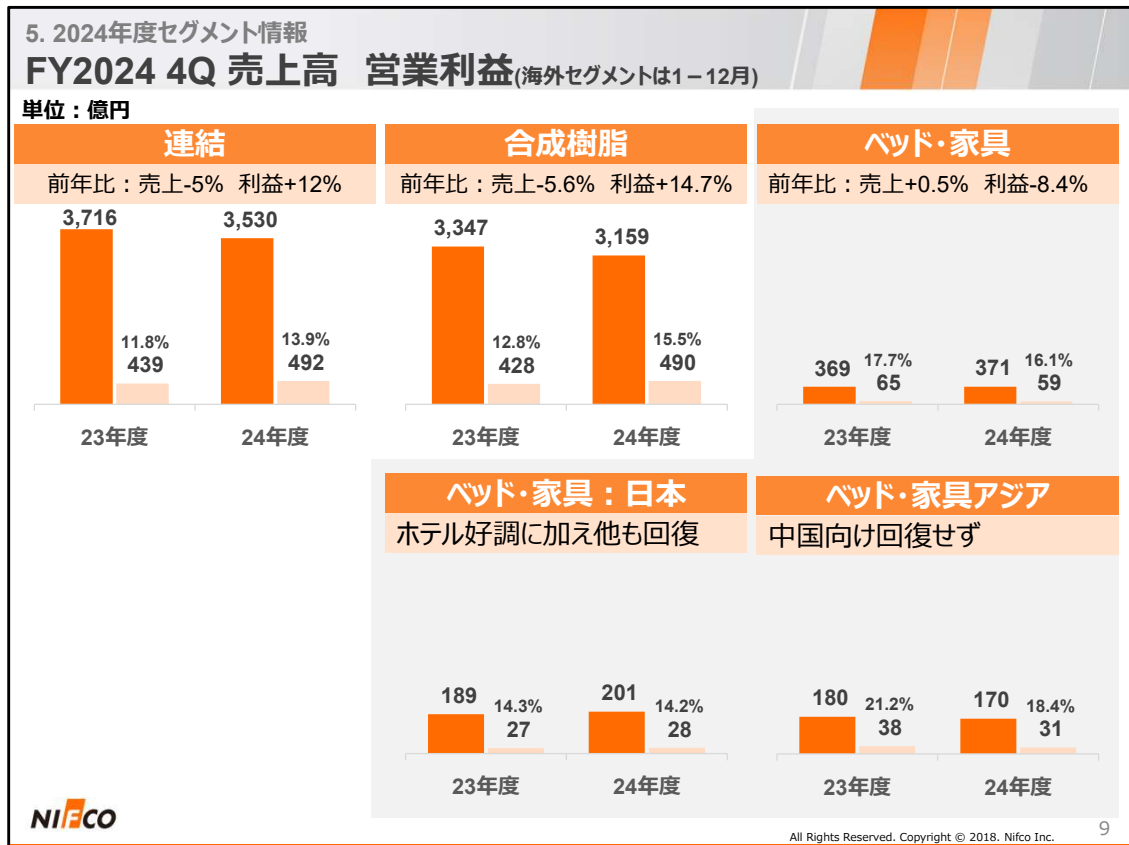
8

こちらは営業利益の増減分析です。

ドイツ系事業の売却によりプラス18億円、
売上高要因にてプラス10億円、
限界利益もプラス43億円でございます。

一方、固定費要因はマイナス44億円となっておりますが、これは主に人件費です。

なお、為替影響はプラス25億円となっております。



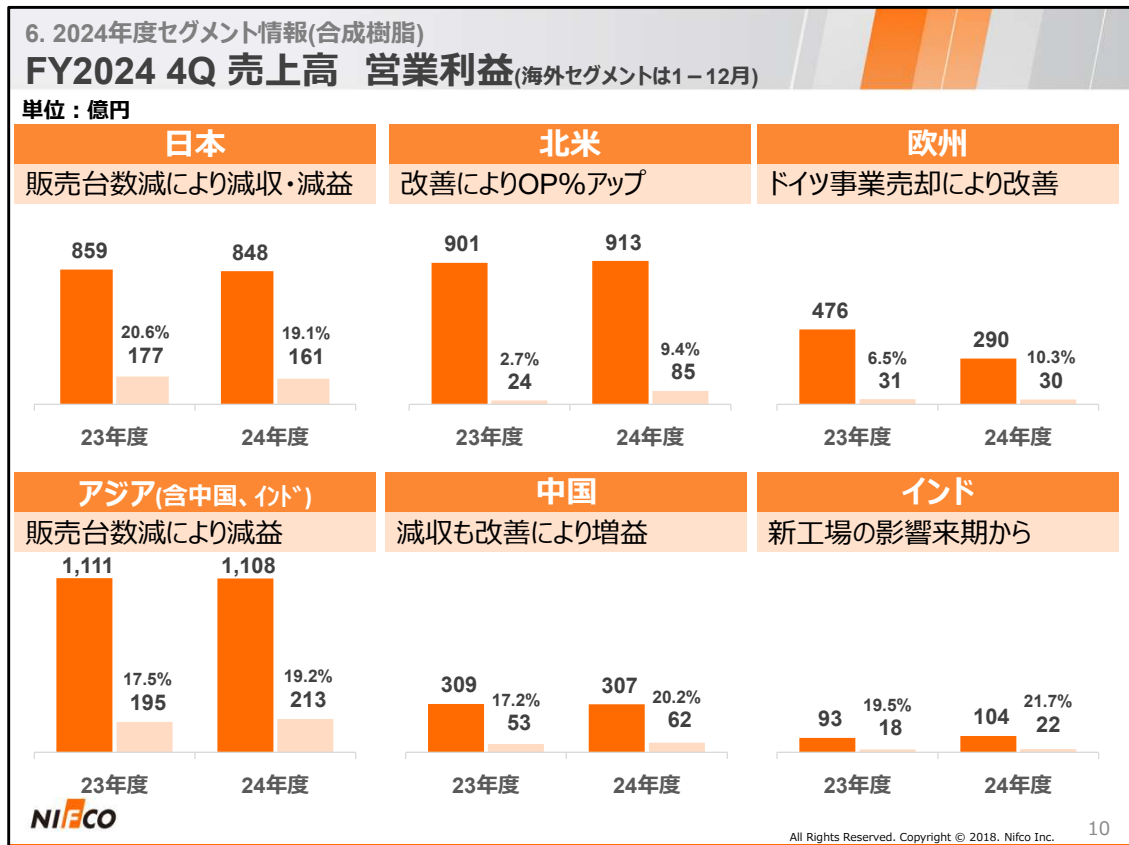
こちらはセグメント別の情報です。

ご覧の通り、合成樹脂に関しては売上高が前期からマイナス5.6%となっておりますが、営業利益は14.7%増加しております。

ベッド・家具事業に関しては売上高はほぼ前期と同様ですが、営業利益がマイナス8.4%と、増収減益しております。

右下のグラフが地域別の内訳でございます。

日本はインバウンドの影響もありベッド・家具事業は好調ですが、アジアに関しては中国のマーケットが回復しておらず、減収減益となっております。



こちらは各地域でのセグメント情報です。

日本は自動車の販売台数の減少のほか、新規車種の立ち上げが少なかった影響もあり、減収減益となりました。

なお営業利益率は19.1%を確保しております。

北米については、売上高はほぼ前年と同じですが営業利益率は上がっております。

欧州はドイツ事業の売却により売上高が減少しておりますが、営業利益率は10.3%まで改善しております。

アジアは東南アジア、主にタイを中心に自動車の販売台数がかなり落ち込んでいるため、減収しております。

中国は若干減収ですが、様々な利益を上げる施策を行ってまいりましたので利益率は上昇しております。

インドは数字自体は小さいですが、現時点では増収増益です。

今年から新たな工場が稼働しているので、今期の終わりの数値は期待できるのではないかと考えています。

7. 設備投資と減価償却費

キャッシュフロー重視の経営を重視し、資金配分

- ・ フリーCFは、円安、北米の好調等により計画を上回る水準を確保
- ・ 期末現預金は微減。2026/3期に手元現預金から社債償還予定

	2023年度(4Q累計)	2024年度(4Q累計)	増減	2024年度通期計画
設備投資額	100億円	197億円	+97億円	232億円
減価償却費	142億円	130億円	-12億円	128億円
研究開発費	40億円	44億円	+4億円	40億円
営業CF	472億円	542億円	+70億円	426億円
投資CF	-81億円	-238億円	-157億円	-230億円
フリーCF	391億円	304億円	-87億円	196億円
財務CF	-260億円	-351億円	-91億円	-295億円
現預金残高	1,420億円	1,410億円	-10億円	1,214億円



All Rights Reserved. Copyright © 2018. Nifco Inc.

11

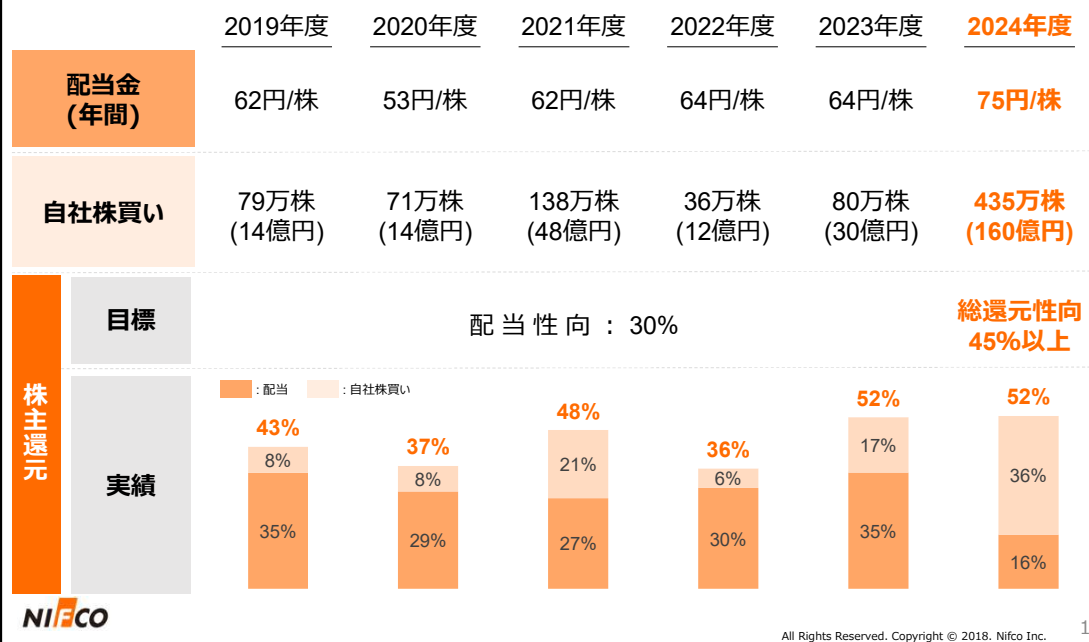
続いて、こちらは設備投資と減価償却費です。

設備投資額は前期の100億円から97億円増の197億円、
研究開発費は前期の40億円から10%増の44億円となりました。

8.株主還元

配当は75円、自社株買いは積極的に今後も検討

- 配当はさらに5円増配した75円、前期比11円増
- 自社株式買いは160億円を実施、今期も引き続き柔軟に検討する



配当について、2024年度は1株あたり75円としております。

前期までは配当性向約30%を基本方針としておりましたが、2024年度からは総還元性向45%以上に変更しております。

自社株買いも行いましたので、2024年度の総還元性向は52%となり、当初目標を上回る事ができたと考えております。

目次

1. 2024年度通期連結業績概要

2. 2025年度業績見通し

3. 中期経営計画(FY2025 – FY2027)

続きまして、2025年度の業績見通しです。

9. 2025年度連結見通し

営業利益の過去最高更新と利益率14%を目指す

- 為替は足元より円高想定(1ドル=145円)だが、1台当り搭載金額の成長とコスト管理徹底により、営業利益増を見込む

	2023年度	2024年度	2025年度	
	4Q累計	4Q累計	4Q累計	前年同期比
売上高	3,716億円	3,530億円	3,480億円	-1.4%
営業利益 (営業利益率)	439億円 (11.8%)	492億円 (13.9%)	495億円 (14.2%)	+0.06% (+0.3%pts)
当期純利益	182億円	447億円	306億円	-31.5%
一株当たり 当期純利益 ¹⁾	183.26円	461.95円	315.76円	-31.6%
ROE	7.8%	17.3%	12.0%	-5.3%pts
ROIC	17%	18.8%	18.0%	-0.8%pts
想定為替	1ドル=140.7円	1ドル=151.7円	1ドル=145円	1ドル= -6.7円

NISSCO

All Rights Reserved. Copyright © 2018. Nifco Inc.

14

為替は1ドル = 145円の円高を想定していますので、前期実績値比での売上高の減少は為替影響とお考えください。

この減少分を新規立ち上げ車種の自動車1台あたりの当社製品搭載金額の増加によって補ってまいります。

なお、営業利益は微増ではありますが、プラス0.06%の上昇、495億円と予想しております。

ROEについては12.0%、ROICについては18.0%で考えております。

10.設備投資と減価償却費

キャッシュフロー重視の経営を重視し、資金配分

- 2024年度に引き続きメリハリのある設備投資を行う予定
- 期末現預金は投資及び社債償還等の影響で減少

	2024年度(実績)	2025年度（予算）	増減
設備投資額	197億円	210億円	+13億円
減価償却費	130億円	135億円	+5億円
研究開発費	44億円	48億円	+4億円
営業CF	542億円	460億円	-82億円
投資CF	-238億円	-230億円	+8億円
フリーCF	304億円	230億円	-74億円
財務CF	-351億円	-270億円	+81億円
現預金残高	1,410億円	1,370億円	-40億円



All Rights Reserved. Copyright © 2018. Nifco Inc.

15

続きまして、設備投資と原価償却費です。

キャッシュフロー重視の経営を行い、資金配分を行います。

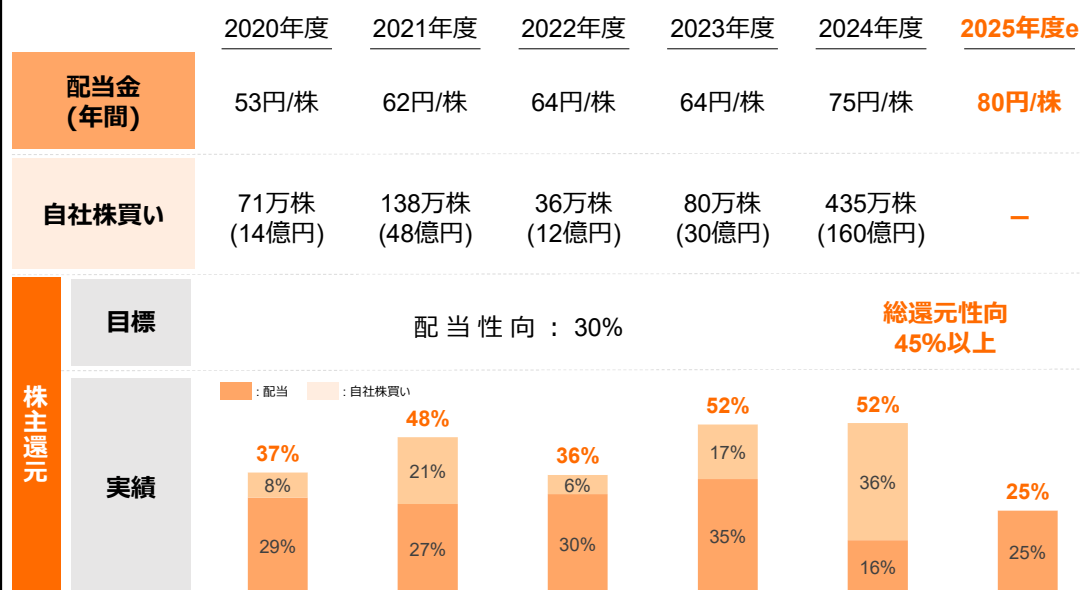
設備投資は2025年度も約210億円投資してまいります。

研究開発費は、2024年度からさらに4億円増額して48億円に設定いたしました。

11.株主還元

配当は80円、自社株買いは積極的に今後も検討

- 配当は80円と前期比5円増配の予定
- 自社株式買いは柔軟に検討し、総還元性向45%を目指す



NIFCO

All Rights Reserved. Copyright © 2018. Nifco Inc.

16

株主還元については、まず2025年度の配当は 1株あたり80円 と考えております。
 なお、更に増配できるような努力は続けてまいります。

また、自社株買いの実施についても柔軟に検討し、総還元性向45%以上を目指してまいります。

目次

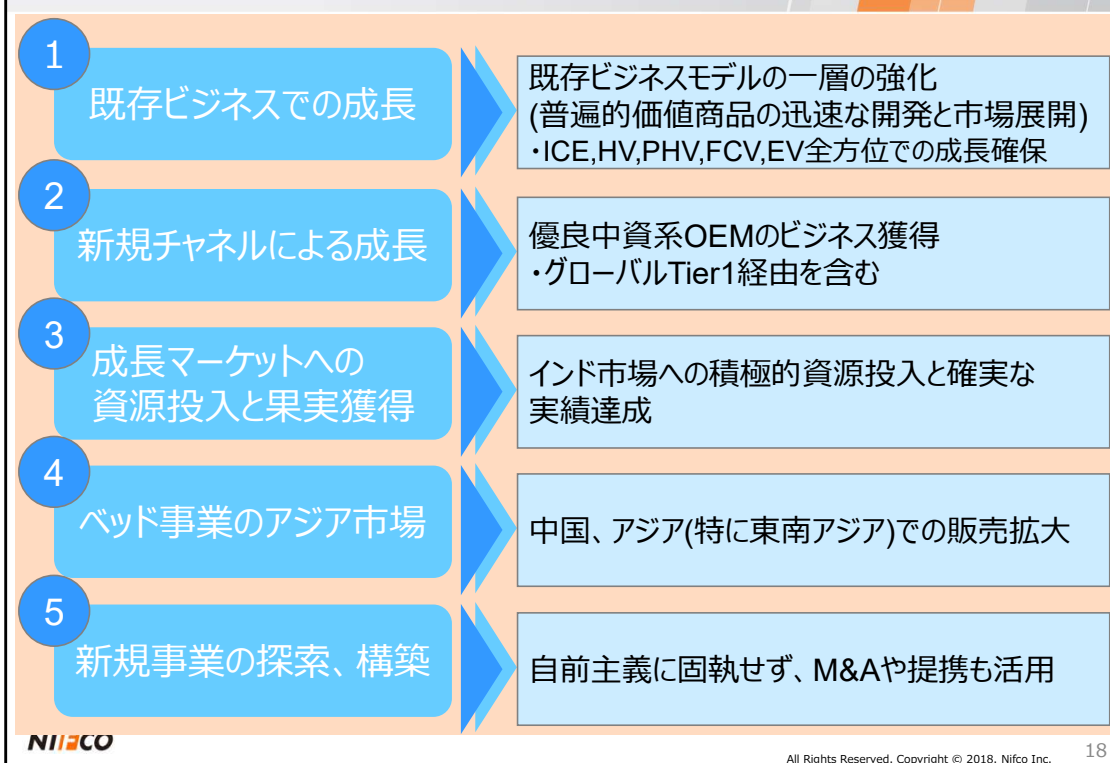
1. 2024年度通期連結業績概要

2. 2025年度業績見通し

3. 中期経営計画(FY2025 – FY2027)

続いて、中期経営計画についてです。

12. 中期経営計画重点実施事項(1)



重点実施事項は以下の通りです。

①既存ビジネスでの成長：まずは、既存ビジネスが当社の成長の源泉ですので、こちらは確実に強化してまいります。

②新規チャネルによる成長：中国やインド系OEMでのビジネス獲得を進めていきます。

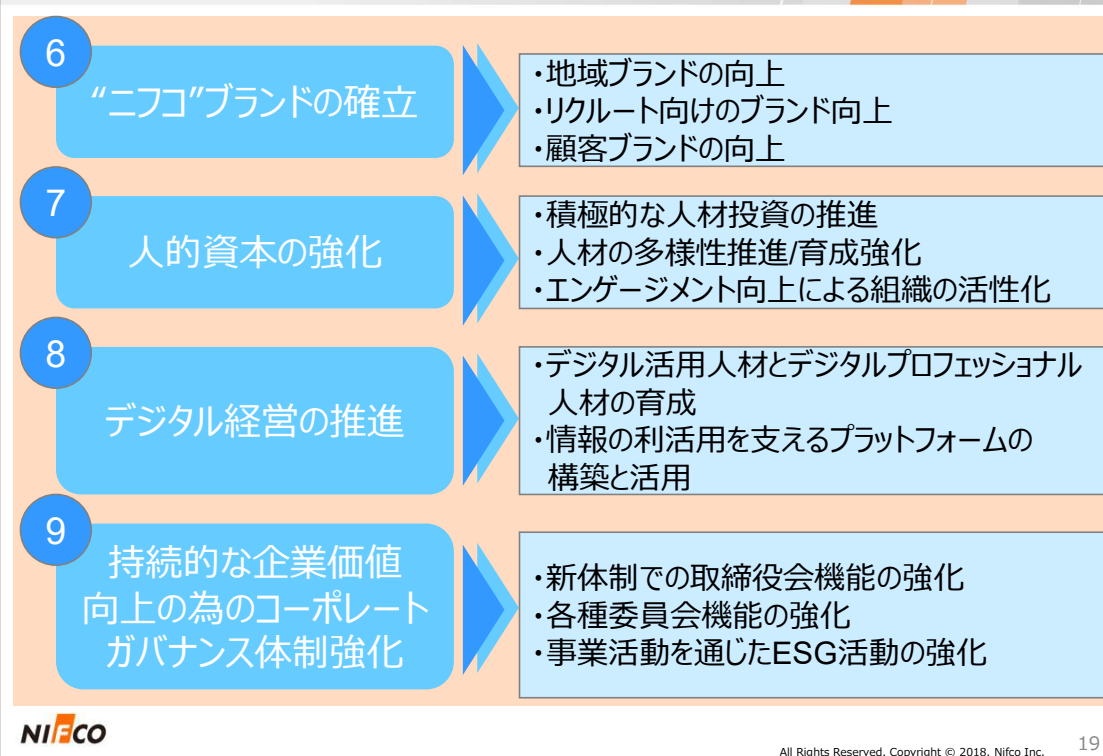
③成長マーケットへの資源投入と果実獲得：インドへの大幅投資を行うことを検討しております。

④ベッド事業のアジア市場：東南アジアのマーケットでの販売拡大を図ります。

⑤新規事業の探索、構築：新規事業も少しずつ実を結び始めていますので、これをより加速させていきます。

また、自前主義にこだわらず、M&Aも積極的に進めていきたいと考えております。

13. 中期経営計画重点実施事項(2)



⑥“ニフコ”ブランドの確立：ニフコブランドを確立させることで、人材確保を目指します。

当社はBtoB企業のため、採用に苦労することが多いですが、様々なブランディング活動を実施し、新卒生確保に繋げてまいります。

⑦人的資本の強化：現在在籍している社員向けには、積極的な人材投資、多様性の推進、併せてエンゲージメント向上による組織の活性化などをグローバルに進めてまいります。

⑧デジタル経営の推進：毎年20名ほどデジタル活用人材を増やしていこうと活動しており、2024年度は26名を達成しました。

最終的には、従業員全体の5%をデジタル活用人材に育成していこうと考えております。

⑨持続的な企業価値向上の為にコーポレートガバナンス体制強化：取締役会機能、各種委員会機能は、これまで弱かった部分を国内外で強化していきます。

また、事業を通じたESG活動も強化してまいります。

14. 中期経営計画数値目標

億円	FY2024	FY2025	FY2027	Compare with FY2025
	Actual	Budget	Target	
売上高	3,530	3,480	3,690	+6%
営業利益	492	495	534	+8%
%	13.9%	14.2%	14%以上	-
当期純利益	447	306	350	+14.4%
ROE	17.3%	12%	12~14%	-
ROIC	18.8%	18.0%	18~20%	-
FX	1ドル=151.7円	1ドル=145円	1ドル=145円	

NIFCO

All Rights Reserved. Copyright © 2018. Nifco Inc.

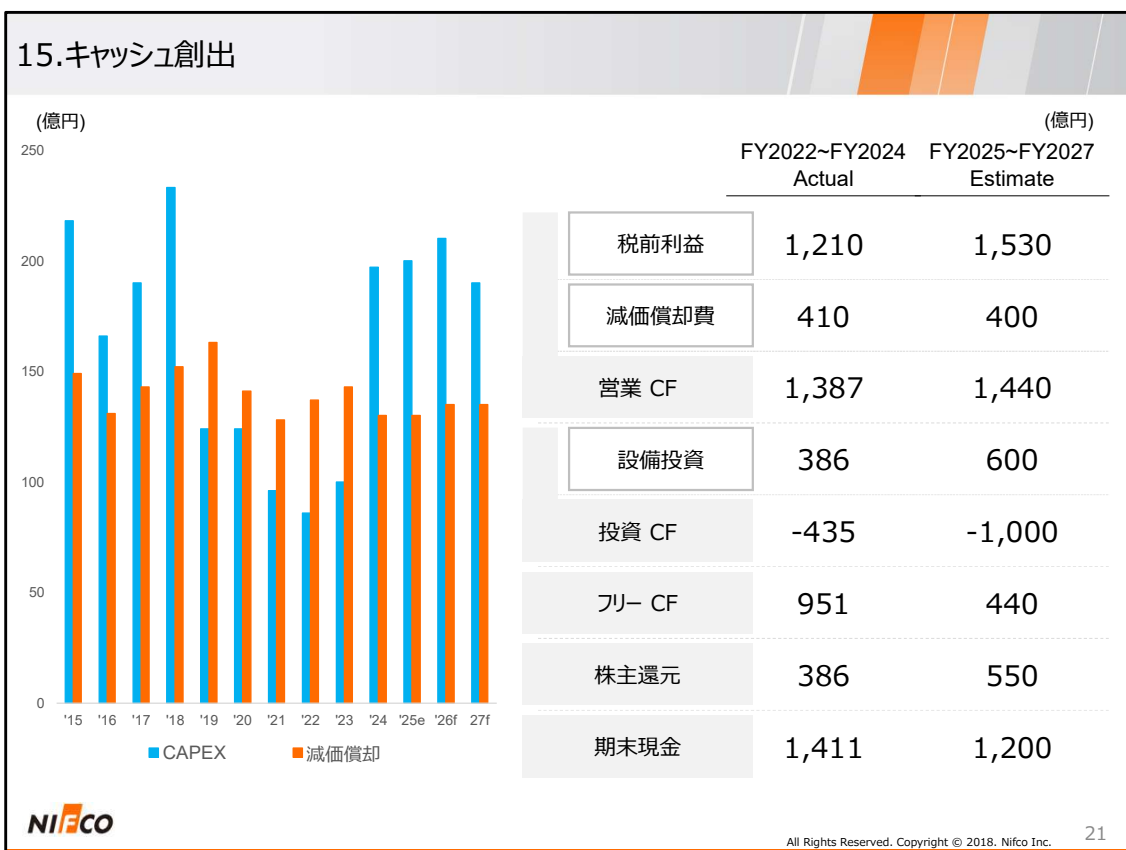
20

続いて、2027年度の目標数値です。

売上高については6%増の3,690億円、
営業利益は8%増の534億円、
為替は1ドル = 145円を想定しております。

営業利益は14%以上を確保していきたいと考えております。

ROEに関しては12~14%、ROICに関しては18~20%と、
いずれも当社が適正だと考えている数値を維持していきたいと考えております。



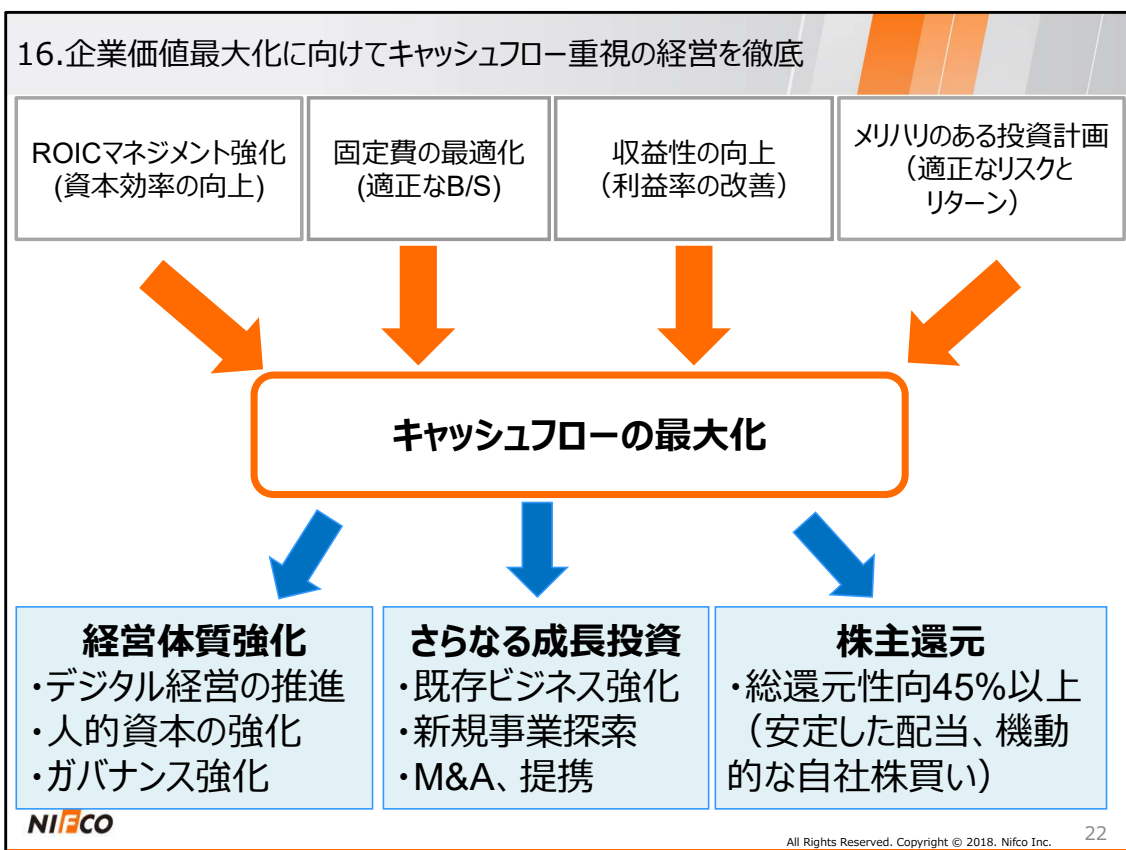
こちらはキャッシュ創出のグラフです。

2015年～2018年はCAPEXが減価償却を上回っておりました。

その後コロナ禍はなかなか投資ができておりませんでした、
2024年以降は確実に設備投資を進め、3カ年で600億円の投資を行っていきます。

一方で、投資キャッシュフローに関しては1,000億円で考えております。
設備投資と投資キャッシュフローの差額400億は、将来へ向けた成長投資に活用したいと考えます。

また、皆様への株主還元は3カ年で550億円を考えています。
これについては、冒頭でもお話しましたように、数字を上げていく努力を続けていきます。



今後も企業価値の最大化に向けて

資本効率の向上、適正なバランスシート、利益率の改善、適正なリスクとリターンを実現・推進し、

キャッシュフローの最大化を目指してまいります。

これにより、経営体質の強化、さらなる成長投資、株主還元を実現してまいりたいと考えております。



本資料に記載されている情報には将来の見通しに関するものが含まれています。これらには現在入手可能な情報をもとにした判断が含まれており、リスクや不確実性が含まれています。今後の経済状況、事業環境の変化などにより将来の見通しが大きく変わる可能性があるため、将来の見通しに関する情報が正確であること、または記載した情報どおりになる事を当社が保障するものではありません。また、これらの情報は投資家の方々へ当社の状況や今後の考え方を伝えることを目的としており、当社株式の売買を勧誘するものではありません。



All Rights Reserved. Copyright © 2018. Nifco Inc.

23

私からの説明は以上となります。

ご清聴、ありがとうございました。